



今年初めての参観日をとおして

先週の参観日には多数の保護者の方にご来校いただき感謝申し上げます。新型コロナウイルス対策もあり安全第一で地域ごとに時間を分けての開催としましたが、保護者の皆様のご理解のもとに、本年度初めての参観日を実施することができました。ありがとうございます。お子様の学校での姿はいかがだったでしょうか。

参観日前日のことです。ある高学年の児童とやり取りをしたエピソードを紹介します。

児童：「校長先生、私、参観日嫌いです。何で参観日があるんですか？」

校長：「いい質問だけど、どうして嫌いなのかな？」

児童：「だって、お母さんが見にくるんで恥ずかしいです。」

校長：「なるほどね。実は先生のお母さんは参観日にはいつも1番先にやって来ていたので、クラスの友達から毎回、『谷口君のお母さんが、また1番に来られたよ。』と言われてちょっと恥ずかしかった経験があるよ。参観日はみんなの学校での様子や頑張る姿を見てもらうためにするので、安心して普段通りの勉強の様子を見てもらえばいいよ。」

と話をしました。

当日の参観授業中にその児童のクラスをのぞいてみると、たくさんの保護者の方々に見守られながら一生懸命学ぶ姿がありました。高学年特有の少し照れくさい思いが、「参観日嫌いです。」という言葉になったのでしょう。けれども本心は、「今日は頑張るぞ。」という思いに満ちあふれていたようです。

今後も命の教育参観日や人権教育参観日など、何回か参観日を設定する予定です。是非ご都合をつけていただき、お子様の頑張る姿をご覧いただければ幸いです。



初めての参観日に張り切る1年生

頑張りました東伯郡陸上選手権大会

6月13日(日)、倉吉市宮陸上競技場で東伯郡陸上選手権大会が開かれました。羽合小学校からも毎日の授業前などに練習を積み重ねてきた3年生から6年生までの多くの陸上クラブの選手が参加しました。今年初めての大会で緊張感を持ちながら、各種目に一生懸命頑張りました。

この大会は県民スポレク祭の予選も兼ねていますので、上位入賞者はその参加権も得たことになります。

応援いただいた保護者の皆さま、ありがとうございました。

